

創設者「野口 遵」について

略 歴

- 明治 6 年 1873 7月26日金沢市で生まれる。
- 明治29年 1896 東京帝国大学電気工学科を卒業。郡山電燈の技師長として赴任。
- 明治31年 1898 シーメンズの東京支社に入社。この間カーバイドの研究を続ける。
- 明治36年 1903 三居沢(仙台市)で我が国最初のカーバイドを生産。
- 明治39年 1906 曾木電気を創立。鹿児島県の曾木滝を利用して水力発電を起こす。
- 明治41年 1908 日本カーバイド商會を設立し水俣に工場を建設。曾木電気、日本カーバイド商會を合併して社名を日本窒素肥料(現JNC株式会社)と改称し、石灰窒素、硫安の製造を開始。
- 大正10年 1921 カザレー(伊)のアンモニア合成の特許を買収して延岡に世界最初のカザレー式アンモニア合成工場を建設。
- 大正11年 1922 旭絹織(現旭化成株式会社)を設立。
- 大正12年 1923 延岡工場を新設、硫安を生産。
- 大正13年 1924 朝鮮への進出を決定。
- 大正14年 1925 北朝鮮赴戦江で水力発電の開発(20万kW)に着手。続いて長津江(33万kW)、虚川江(34万kW)を完成、鴨緑江本流には水豊発電所(70万kW)を建設。
- 昭和 4 年 1929 ドイツ・ベンベルグ人絹の特許をもとに日本ベンベルグ絹絲を設立。
- 昭和16年 1941 全財産3,000万円を寄附し、2,500万円で野口研究所を設立。500万円を朝鮮奨学会に寄附。
- 昭和17年 1942 勲一等瑞宝章を受章。
- 昭和19年 1944 1月15日逝去。享年72歳。
- 野口遵の事業は、旭化成株式会社、JNC株式会社、積水化学工業株式会社等に引き継がれています。



野口研究所とは？

公益財団法人野口研究所は1941年に、旧日窒コンツェルンの創始者故野口遵が私財を投じて設立しました。設立趣旨は「化学工業の振興を期するため、諸般の研究並びに調査を行うとともに広く重要な研究に対し援助をなし、なお研究者の養成、発明・考案の工業化にも力を注ぐ…」となっています。この精神を尊重しつつ、現在の社会ニーズにこたえるような基礎的研究、研究助成および人材育成を目的として事業を進めています。現在は、糖質科学領域を中心とした研究を行っています。

野口研究所の歩み

- 昭和16年 1941 日本窒素肥料株式会社社長 野口遵が、私財2,500万円を拠出して設立。文部大臣より民法第34条に基づき財団法人設立の許可を受ける。設立年月日 昭和16年2月10日。研究所を横浜、延岡、興南に開設。
- 昭和21年 1946 各研究所を東京板橋(現在地)に移転。
- 昭和23年 1948 維持会制度を設ける。調査部を東京神田に新設(主として水力資源と森林資源の活用に関する調査を行い昭和30年まで継続)。
- 昭和31年 1956 基本財産拡充のため募金(83社より約3億円の賛助を受ける)。
- 昭和37年 1962 野口情報センターを開設。
- 昭和44年 1969 同情報センターを調査部として発展改組。
- 昭和60年 1985 投資有価証券のうち株式を処分し、国債・地方債・金融債・貸付信託等に転換、基本財産および通常財産の拡充を図る。
- 平成 3 年 1991 創立50周年。
- 平成 6 年 1994 調査部を廃止し、調査事業を縮小。
- 平成21年 2009 野口遵研究助成金制度発足。
- 平成22年 2010 公益法人に移行し、11月1日付で「公益財団法人野口研究所」に名称変更。
- 令和元年 2019 野口遵研究助成金10周年記念講演会を開催。
- 令和 3 年 2021 創立80周年。

お問い合わせは
こちらまで

〒173-0003 東京都板橋区加賀1丁目9番7号
公益財団法人野口研究所 野口遵研究助成金 事務局
TEL 03-3961-3255 e-mail josei@noguchi.or.jp

野口 遵 Shitagau Noguchi

研究助成金の募集

2026



公益財団法人野口研究所

URL <https://www.noguchi.or.jp>

2026年度(令和8年度)

野口遵研究助成金応募要項

公益財団法人野口研究所
野口遵研究助成金事務局

1 助成の趣旨

独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究を助成します。募集課題分野で、産業応用までには課題も多く短期的な産業有用性は見えにくいものであっても、ロジックがしっかりしていて、実現できた場合の学術性や発展性が強く期待されるものの孵化をお手伝いすることが狙いです。女性研究者や異動・着任したばかりの研究者の積極的な応募を期待します。

2 募集課題

課題1

エネルギー・資源・環境・エレクトロニクスの革新に寄与する新材料や新プロセスに関する研究

持続可能な地球環境・人類社会を実現するためのカーボンニュートラル推進、省・創エネルギー、再生可能エネルギー利用、およびエコシステムのための新素材開発、新プロセス開発、新分析・解析法および電子材料や電子デバイスの開発など

課題2

ライフサイエンスの進展に寄与する研究

生命現象に関する基盤的理解の深化、微生物・動植物・ヒトを含む生物機能の解明、それらの成果を活かした広範な生命科学分野の発展や新たな価値創出、産業応用につながる研究など

課題3

メディカルサイエンスの発展に寄与する研究

ヒトの健康や疾患に関わる生命科学的理解の深化、アンメットメディカルニーズの克服、ならびに健康寿命の延伸に資する新たな診断・治療・予防手法の創出につながる基礎的研究および臨床研究など

選考委員長からのメッセージ

本助成制度は、その趣旨に書かれているように「独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究」を助成している。世の中の研究資金が、見通しのある短期的な実用化研究に傾きがちであり、研究者が自発的・内発的なブレークスルーに挑戦する基礎研究のすそ野がなくなることが危惧されている。このような環境の中で、本助成を通して、将来性ある若手研究者が魅力的・挑戦的な研究を孵化、発展することを支援したい。また、将来性ある女性研究者の研究環境支援を進めたく、女性研究者の積極的な応募を期待する。

3 応募要件

- ① 常勤・非常勤を問わず国内の大学・大学共同利用機関および高等専門学校に勤務する研究者
- ② 11月1日時点で満年齢39歳以下であること
- ③ 応募に当たり所属長の推薦を受けられること

4 研究助成額および採択件数

1件につき原則220万円を贈呈し、所属研究機関へ奨学寄附金として支払います。
採択者が研究活動の経費として使用するのであれば、用途は限定しません。
オーバーヘッドについては、当事務局よりご所属機関に免除の申請をいたします。
採択件数は10～15件です。

5 募集期間

2026年9月1日(火)9:00～2026年10月30日(金) 正午

6 応募手続き

- ・野口研究所ウェブサイトの応募ページをご覧ください。
- ・研究テーマ名はサブタイトルも含め全角40文字以内としてください。
- ・研究助成金申請書を作成した後に所属長の推薦を受けてください。
学部長、研究科長などの相当職の自筆署名または公印押印をお願いします。
- ・募集期間中は何度でも修正、提出書類の差し替えが可能です。
締め切り後の修正は一切受け付けません。

【提出書類】

- ① 研究助成金申請書
 - ② 添付書類
- ③ 研究計画の概要(図表などを含め2枚以内)
④ 代表的な論文1報(審査参考論文)

7 選考方法および選考結果の通知

2027年2月中旬に学識経験者による選考委員会を開催して選考します。選考は研究の独創性、実現できた時の学術性・発展性、ゴールまでのロジックの観点から行います。選考結果は速やかにご連絡いたします。

8 研究助成金贈呈式および助成金の贈呈時期

2027年3月10日開催の贈呈式にご出席願います。助成金は2027年4月末日に一括振込予定です。

9 助成期間および成果の報告・発表

- ① 助成期間は2027年4月～2028年3月です。
- ② 助成期間終了後、2028年12月20日までに研究成果報告書(A4用紙4枚以内)および要旨(150字から200字)を提出いただきます。いずれも書式は特に問いません。当事務局までご提出ください。研究成果報告書は野口研究所の刊行物、ウェブサイトなどで一般に公開することがあります。なお、成果の知的財産権について野口研究所は関与いたしません。

10 その他

- ① 応募された個人情報法令に則り適切に取り扱います。提出された助成金申請書は選考審査のみに使用します。
なお、採択者の氏名、所属、職位および研究テーマ名は野口研究所ウェブサイトなどで公開します。
- ② 採否決定理由に関する問い合わせには一切応じられません。
- ③ 採択後には、野口研究所時報へのご寄稿および当助成金贈呈式当日の講演会での講演をお願いする場合があります。

11 野口遵賞

野口遵研究助成採択者のさらなる研究の後押しを図るべく、採択後一定期間のうちに顕著な功績があり、かつ、継続的な研究発展の期待される高いポテンシャルをもつ研究者2名に野口遵賞を贈呈します。
副賞として各400万円を奨学寄附金として所属研究機関へ支給いたします。「3. 応募要件」の①を満たすことが必須です。
2026年度は、2022年度および2023年度の研究助成採択者の中から選考いたします。
なお、今年度の野口遵研究助成採択者が本賞の選考対象となるのは2029年度および2030年度です。
対象の年度になりましたら募集のご案内を差し上げますので、採択後に異動された場合は必ず野口遵研究助成金事務局までご連絡ください。
選考に関しては「7. 選考方法および選考結果の通知」と同様です。
受賞者には贈呈式にて受賞テーマに関する10分程度のご講演をお願いしております。

12 研究助成金申請書問い合わせ先

〒173-0003 東京都板橋区加賀1丁目9番7号
公益財団法人野口研究所 野口遵研究助成金 事務局

TEL 03-3961-3255 e-mail josei@noguchi.or.jp URL https://noguchi.or.jp/human_resource/subsidy_award/

募集窓口は募集開始日時よりアクセス可能となります。

